

外来TEL:0853-20-2383(小児科外来)  
 外来FAX:0853-20-2658(小児科外来)  
 E-mail:konigata@med.shimane-u.ac.jp

専門分野:内分泌疾患、家族性腫瘍  
 資格:小児科専門医  
 臨床遺伝専門医内分泌代謝科(小児科)専門医



## スタッフ



副部長

長井 篤 教授

専門分野:臨床検査医学、神経内科  
 資格:臨床検査専門医  
 総合内科専門医、神経内科専門医  
 臨床遺伝専門医、脳卒中専門医  
 漢方専門医・指導医  
 認知症専門医・指導医



福田 誠司 教授

専門分野:小児白血病  
 資格:小児科専門医  
 臨床遺伝専門医



皆本 敏子 学内講師

専門分野:胎児診断  
 周産期管理  
 資格:周産期専門医

## 診療内容

遺伝カウンセリング:遺伝や遺伝性疾患に関する最新で正確な情報を提供し、患者さんやそのご家族が病気に対して最善の選択をできるように支援します。

## 特色

多くの病気の原因遺伝子が判明しています。遺伝の情報があると、病気になる前からその人の体質を明らかにすることも可能です。こうした情報を医療現場で活用するために、患者さんやご家族に対する遺伝カウンセリングはとても大切です。一定の資格を持った専門医が遺伝カウンセリングをおこない、患者さんやご家族の不安を和らげるよう支援します。カウンセリングの内容や遺伝情報は、本人のご承諾なしには他人には伝えません。

## 診療体制

1. 遺伝に関するカウンセリング
  - ・生まれながらの病気…染色体の問題、ダウン症、筋ジストロフィー、甲状腺機能低下症、ファブリ病など
  - ・高齢出産、出生前診断…胎児エコーの問題、羊水検査、トリプルマーカーやクアトロテストなど
  - ・遺伝性のがん…家族性乳がん・卵巣がん、遺伝性大腸がん、甲状腺がんなど
  - ・遺伝性の神経や精神の病気…脊髄小脳変性症、アルツハイマー病、発達の遅れなど
2. 遺伝体質(高血圧、糖尿病、神経疾患なども含む)に関する情報提供
3. 遺伝疾患の診療に関わる倫理的問題の適正な処理

### 病気に関する心配事がある時に

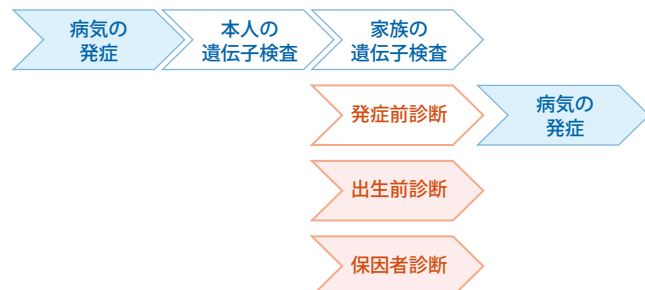
子どもが生まれつきの病気を持っている。  
→ 次の子どもは大丈夫だろうか？

自分や家族が病気を持っている。  
→ 子どもに遺伝しないのだろうか？

家族に同じような病気にかかったものがある。  
→ その病気は遺伝するものなのだろうか？

遺伝する病気の疑いがあるとされたが、詳しく知りたい。  
遺伝子検査をすすめられたが、受けるべきだろうか？

### いつ、遺伝子検査を受けるのか？



## 診療実績

1. 遺伝カウンセリング…100件/年
2. 遺伝子検査…家族性大腸腺腫症(FAP)、遺伝性乳がん・卵巣がん症候群(HBOC)、リンチ症候群、脊髄小脳変性症など
3. 出生前診断…無侵襲的出生前遺伝学的検査(NIPT)